

2022.09.04. 絶望の淵に立たされた時

第一ペテロ 1章 10節～25節

JD フラグ牧師

今日は、「第一ペテロの手紙」の節ごとの学びを続けます。主の御心なら、一章を終える予定です。聖書箇所は、10節から25節までです。可能な方は、ご起立をお願いします。私が読むのについてきてください。無理な方は、着席したままで結構です。少し長めですが、皆さん御出来になります！ 説得力がありませんが、まあいいでしょう。では、10節、

-I ペテロ 1:10-

この救いについては、あなたがたに対する恵みを預言した預言者たちも、熱心に尋ね求め、細かく調べました。

-I ペテロ 1:11-

彼らは、自分たちのうちにおられるキリストの御靈が、キリストの苦難とそれに続く栄光を前もって証ししたときに、だれを、そしてどの時を指して言われたのかを調べたのです。

-I ペテロ 1:12-

彼らは、自分たちのためではなく、あなたがたのために奉仕しているのだという啓示を受けました。そして彼らが調べたことが今や、天から遣わされた聖靈により福音を語った人々を通して、あなたがたに告げ知らされたのです。御使いたちもそれをはっきり見たいと願っています。

-I ペテロ 1:13-

ですから、(これは非常に重要です) あなたがたは心を引き締め、(翻訳によつては『心の腰に帶を締め』) 身を慎み、(冷静に、影響されず) イエス・キリストが現れるときに与えられる恵みを、ひたすら待ち望みなさい。

-I ペテロ 1:14-

従順な子どもとなり、以前、無知であったときの欲望に従わず、

-I ペテロ 1:15-

むしろ、あなたがたを召された聖なる方に倣い、あなたがた自身、生活のすべてにおいて聖なる者となりなさい。

-I ペテロ 1:16-

「あなたがたは聖なる者でなければならない。わたしが聖だからである」と書いてあるからです。

-I ペテロ 1:17-

また、人をそれぞれのわざにしたがって公平にさばかれる方を父と呼んでいるのなら、この世に寄留している時を、恐れつつ過ごしなさい。

-I ペテロ 1:18-

ご存じのように、あなたがたが先祖伝来のむなし生き方から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはよらず、

-I ペテロ 1:19-

傷もなく汚れもない子羊のようなキリストの、尊い血によつたのです。

-I ペテロ 1:20-

キリストは、世界の基が据えられる前から知られていましたが、この終わりの時に、あなたがたのために

現れてくださいました。

—I ペテロ 1:21—

あなたがたは、キリストを死者の中からよみがえらせて栄光を与えられた神を、キリストによって信じる者です。ですから、あなたがたの信仰と希望は神にかかっています。

—I ペテロ 1:22—

あなたがたは真理に従うことによって、たましいを清め、偽りのない兄弟愛を抱くようになったのですから、きよい心で互いに熱く愛し合いなさい。

—I ペテロ 1:23—

あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく朽ちない種からであり、生きた、いつまでも残る、神のことばによるのです。

—I ペテロ 1:24—

「人はみな草のよう。その栄えはみな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。

—I ペテロ 1:25—

しかし、主のことばは永遠に立つ」とあるからです。これが、あなたがたに福音として宣べ伝えられたことばです。

わお～。祈りましょう。ご一緒にお願ひします。

お～主よ、私たちはあなたの御言葉を愛します。あなたの御言葉を愛しています。あなたの御言葉は、永遠に立ちます。

主よ、今日、私たちがここにいる理由は一つです。その理由は、あの静かな小さな御声で、私たちの人生に語ってくださるのを聞きたいからです。あなたは私たちの人生のすべてを知っておられるからです。あなたは、私たちが経験していることすべてを知っておられます。苦難、困難、落胆、倦怠感も。そして主よ、感謝します。あなたが気遣ってくださり、私たちを励まし、強め、あなたにある希望を与えるため、私たちの人生にそういう事を語って下さいます。

主よ、今日、あなたが正にそうなさってくださいますように。特に本当に傷ついている人たちのために、これが希望と励ましのメッセージとなりますように。イエスの御名によって祈り、このことをあなたにお願いします。アーメン、アーメン。

ご着席くださいありがとうございます。今日お話ししたいのは、私たちクリスチヤンが愛称する通り「絶望の淵に立たされた時」何ができる、何をすべきなのか、です。私がこの方向で話す理由は、今日の箇所にかなりの時間を費やした結果、聖霊によってペテロが、当時、極度の迫害を受けていた信者たちを励ますためにこの手紙を書いていることに、とても心を打たれたからです。それは公平に見て、まだ控えめな表現です。この時、彼らが経験していたことは、恐ろしい、言葉にできない、考えられない、激しい迫害と苦しみでした。それで、ペテロは彼らを励ましたいと思ったのです。神が聖霊によって、彼らに希望を与えるため、この励ましの手紙、希望の手紙を書くように導かれました。なぜなら、多くの人々が希望を失い、絶望に打ちひしがれていたからです。多くの人が、辛うじて持ちこたえているだけでした。これこそ、私が愛する神の御言葉です。あなたが、どの神の御言葉箇所にいてもあなたが、人生のどこにいても「神のことばは生きていて、活発で、両刃の剣よりも鋭い」からです。人生で辛いことがあったとき、聖書を開くと、今まで何度も読んだことのある節がページから飛び出してくるようなことがあるでしょう。夜、あなたが眠っている間に、誰かがあなたの名前をそこに書き込んだみたいに。以前はなかったのに、

今はあるんです。

「JD...」「わお～、主よ、これは私のためです。」「そうだよ。」「ええ、でもこれは 2000 年も前に書かれたものです。」「いえ、でもこれはあなたのためです。」「お～主よ、私にはこれが需要です。お～主よ、私にはこれが需要です。」

ですから、この章の残りを教える準備として、主は、私に思い出すよう示唆下さいました。これはある種の念押しで、私は、4 つの念押しを見つけました。皆さん他にもっとあるかもしれません、特に、試練の激しさや大きさに圧倒される時、私たち全員が必要とする、4 つの念押しを紹介します。試練の真っ只中にいると、つい忘れてしまうことがありますよね。使徒ペテロは御靈の靈感を受けて、

「どんなに悪いことがあっても神はいつも良いお方で、それを変えられない」と私たちに思い出させようとしているのだと思います。では 1 つ目、絶望の淵に立たされた時、10 節から 12 節、「神のご計画を楽しみにする」ここでペテロは、非常に興味深いことに、キリストの時代に生きることを切望した昔の預言者たちのことを思い出させています。その理由はこうです。彼らがしたことは、すべてキリストを指し示しました。彼らは、ある意味で聖別された形でクリスチャンを羨ましく思っていました。なぜなら、彼らがしたこと、書いたこと、すべての働き、人生に与えられた召命、預言の全てが指し示していたのは、イエス・キリストという人物でした。それは、当時の彼らのためではなく、現在のクリスチャンのためであり、初代教会の信者のためだったのです。そして彼らはまた、聖なる方法で、初代教会時代に生きることを切望しました。すべての預言者が、キリストが苦難のしもべとして初臨し、勝利の王、王の王として再臨することの両方を指し示しました。ペテロは、このことを彼らに思い出させ、彼らの焦点と私たちの焦点を、このすべてが指し示す大きな預言の絵に向けさせようとしています。よくこんな風に言ったり、見たりしますが、楽しみにしている事が分かると、どんなことも乗り越えやすくなりますよね。

私たちは、そのことを思い出す必要があります。なぜなら、激しい試練の中にいると、試練、困難全体に心が奪われてしまうからです。一歩下がって、こう言うのが良いと思います。

「ちょっと待って。ここで起こっていることの大局を見てみよう。これは何なのか？」それがあなたを指摘し、方向転換させます。言わば、約束です。なぜそのように言うかというと旧約聖書の原語のヘブライ語では、約束した時間とは、しるしや祝祭を示したからです。ヘブライ語では「モアド」です。私の母国語であるアラビア語でも同じ言葉「モアド」です。一緒に考えてみましょう。とても重要です。

私がアラビア語あなたに語りかけます。Anna undee moad ma'akoom (アンナアンディ モアド マーコン)

「あなたと約束がありますと、言ったでしょ。」私たちには予定した約束/モアドがあり、まだ未来の約束した時間を指します。約束/モアドです。ペテロが言っているのはそういうことです。これはすべて約束されたことであり、キリストの初臨、そして再臨を指し示します。イエスに目を向け、向き直し、集中し、苦難や痛み、困難から目を離せば、すべてが変わります。なぜなら、真っ只中で、押しつぶされそうになっている時、困難のことばかりを考えてしまうからです。問題から目を離し、この問題の中、この問題を通して、神が持つておられるご計画に目を向ける必要があります。これは何を指し示すのか？ あなたが経験していることはすべて、イエスを指し示します。私は、イザヤの言葉を思い出します。

**「志の堅固な者を、あなたは全き平安のうちに守られます。」(イザヤ 26:3)**

そして、それは実にこの次の数節、13 節から 17 節にある、2 つ目です。説明が必要なので、お付き合いください。絶望の淵に立たされた時、すべきは「神の影響下に来る」そして、それは思考の中の戦いでも

あります。ペテロがここで言っているのは、世の影響下に来るのではなく、聖なる影響下に来ることです。では、神聖・聖なるものと言えば、何を思い浮かべますか？つまり、あなたの思考のキャンバスに、「聖なるもの」の絵が描かれていますよね。ほ～～～ん。そう、マズすぎますね。聖なるとは全体性であり、聖別で、ある意味、切り離し、節度があって、心を整え、安定させる事です。そう彼は「心を慎み/引き締め」と言っています。心の準備、心構えと、理解するのがよいでしょう。冷静な判断ができるように、自分の思考を律する。心/思考の準備をしなさい、そこが戦場なのだから。試練の中にいるとき、何が起こりますか？あなたは頭の中で、何とも恐ろしいシナリオを作り上げてしまいます。私はそれを「もしも...」と呼びます。何のことか分かりますか？「もしも、こうなったらどうする？」じゃあ、もしもそうなったらどうする？」私たちの思考を、”もしも...”の道に敵が連れて行くのを許す限り、その道を進むという強い性質があります。そうしてしまうと、世の影響を受けてしまいます。それが世の考え方です。世の影響下にいざ、世の影響を受けて生きるのではなく、聖なる影響を受けて生きる。神が聖なる者であられるように、聖なる者となりなさい。皆さんが私同様なら、そうだと思いますが、聖句を読み話すたびに、

「わたしが神であり、聖なる者だ。聖なる者になりなさい！！！」「は、はい！！聖なる者にならなきゃ！え～ん。とほほ。。。ごめんなさい。」そんな風ではありません。敵にそれをさせないようにしてください。神が仰っているのは、「あなたが中途半端であってほしくありません。4分の3であってほしくありません。完全であって欲しいのです。わたしのために、わたしのように切り離された存在（聖別された存在）であってほしいのです。わたしはあなたをとても愛しています。あなたが不必要に苦しむのを見るのは、愛する天の父として耐えられません。聖なるものの影響下に入りなさい。」これは最も重要なことです。なぜなら、私がこれは聖書全体で最も強力な原則の1つであると主張するもので思考に関係しています。まず最初に注目していただきたいのは、「第二テモテへの手紙1章7節」です。皆さんよくご存じですね。

## —II テモテ 1:7—

**神は私たちに、臆病（恐れ）の靈ではなく、力と愛と慎み（健全）の靈を与えてくださいました。**

さて、健全な心には、躾けられた心という考えを含みます。私たちって子どもたちを躾けますよね？私たちは自分の心を躾ける必要があります。律する事です。思考が暴走して悪事をすることがあるから、躾けが要ります。なぜなら、私たちの思考は私たちを恐れへ導く道を歩むからです。恐れは信仰の対極です。私たちの思考は、再び戦場です。躾けないと世に影響され、炎の試練にいると間違った道を歩む傾向があります。では、その解決策は何か？「ローマ人への手紙12章2節」です。「ローマ人への手紙」を学んだのはもう何年も前のことですが、一緒におられた方一節ずつ学び、2年くらいかかったと思います。時間がかかってしまって、本当にごめんなさい。しかし12章、特に2節に来た時、もう一度戻って教え直さねばなりませんでした。その時私は、進んでいる所から立ち去って、2節に2年をかけられたでしょうに。使徒パウロが聖霊によって語っていることに耳を傾けてください。

## —ローマ 12:2—

**この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。**

では、どうやって？皆さん、洗脳って聞いたことがありますか？これは洗脳ではありません。脳を洗うのです。言いすぎですか？もっといい例えがあれば、喜んで使わせてもらいますよ。それは神の御言

葉の水によって、あなたの心を清め、新しくすることです。世の影響下に入るのではなく、神の御言葉の影響下に入るのです。真理が知らしめられれば、私たちは非常に罪を示されるでしょう。困難な状況に陥ったとき、私たちが決まって、どれほど世俗的なものに頼っているかが分かります。私たちのお決まりは世俗的なものです。言わば、世俗的なマンネリに陥りやすく、その方法で考え始めてしまうのです。

ちなみに、それは戦いの中ではよろしくありません。興味深いのは、「エペソ人への手紙 6 章」にある武具です。誰もが知っていて、話し、説教し、引用し、SNS に投稿し、軽蔑するつもりはありませんが、これは強力な聖句ですよ。時々悲しくなります。これから見ていきますが、冒涜されています。どういう意味ですか？ 冒涙という言葉を聞いて、何を思い浮かべますか？ 冒涙的な言葉。悪口や罵倒のこと。いいえ、そうではありません。世俗的な時です。世俗的な定義によって、この御言葉の意味を再定義する時です。「聖なる神聖さ～～～！！！お～～～！」違います。冒涙する/世俗的とは、どういう意味ですか？ 冒涙とは？ 一般化するという意味です。他のものと同じように、一般化/大衆化することです。冒涙するとは、そういう意味です。冒涙し、傷つけ、台無しにすることで、神聖なものを、一般化することです。私たちはそうしてしまいます。それが冒涙です。私たちは、神を世のレベルに引き下げ、神の神聖さを汚し冒涙しています。では、その世俗的なマンネリから抜け出すにはどうしたらいいのか？ それは頭の中を新しくすること。それが神の御言葉です。あなたが御言葉に入ることで、御言葉があなたの中に入ってきます。先週も考えたのですが…ちょうど昨日、このことを主にお聞きしました。そう、キリスト教の旗印のもと、聖書を熟知している人たちがいますよね。で、思ったのです。

「ちょっと待って。聖書に書いてあることをあなたがたが判断するのか？」

私は逆だと思います。聖書があなたがたを判断するのです。「あなたは御言葉を読んでいます。」御言葉があなたを読んでいるとしたらどうでしょう？「私は御言葉を研究しています。」御言葉があなたを研究しているとしたらどうでしょう？「私は聖書を探求します。」その聖書があなたを探求しているとしたらどうでしょう？ 逆転させなければなりません。逆さにすべきです。それが、思考を駆け、私たちの心が従い、プログラム化されます。その言い方、良いですか？ 言ってしまいましたが。この世に対して、私たちは、世に完全に協力し、世に従うことによって世の影響下に入ってしまいます。そこから抜け出さなければなりません。どうすれば、そこから抜け出せるのか？ 変える必要があります。どうしたら、そうなるのか？ 心の一新によってです。心の一新は、どのように行われるのか？ 神の御言葉によつてです。神の御言葉です。は～、ご辛抱ください。今日、ここにおられるか、オンラインで見ておられる方で、人生の試練にいるかもしれません。私は知っています。思い出したくも、話したくもないほど、何度も経験してきました。あまりの辛さに、御言葉を読むどころか、祈ることすらままなりませんでした。私はどちらかというと聴覚学習者なので、読むのではなく、聴くことになっています。私は聴覚派です。視覚派な人もいますが、私は本当に聴覚派なんです。ちなみに、コストコなどで独り言を言っている人を見ると、聴覚学習者なのが分かります。（イヤホン携帯で話している人の冗談）気にしないでください。もっといい例えがあれば、喜んでそれを使います。彼らは、声に出して言っています。「チーズ、ステーキ…」お腹が空いていますか？ 私は空いています。彼らが大声で言っているのは、覚えるため聞こえるからです。でないと忘れてしまうからです。聴覚的な作用が働いています。

ですから、信仰は聞くことから始まります。聞くことは、キリストについてのことばを通して実現するのです。（ローマ 10：17）

それなら、聞かないことで恐れを感じるのは当然ではないですか？ 言い換えれば、私が恐れを抱き、絶

望に打ちひしがれないとしたら、私の人生に影響を与えてるのは何か？ 言うなれば、誰が私の耳を掴んでいるのでしょうか？ 私は、何を聴いているのでしょうか？ 当然です。不思議ではありません。絶望と落胆と憂鬱と不安と恐怖と心配と困惑。その全ての状態にあるのは当然です。あなたは何を聴いているのですか？ あなたは、何から影響を受けているのですか？ 誰があなたの注意を引いているのですか？ 誰があなたの耳を掴んでいるのですか？ 誰が、何が、あなたの人生に語りかけているのですか？ なぜなら、それがあなたが従っているものだからです。ですから、ここでパラダイムシフトが必要です。私たちは神の御言葉に戻り、御言葉によって心を新しくされ、変えられ、洗われ、清められ、浄化される必要があります。それは、ただ神の御言葉に耳を傾け、聞くという単純なことでよいのです。聞く事です。なぜなら、あなたが御言葉の中に入り、御言葉があなたの中に入り、変容が始まり、思考、何を考えるかから変わり出します。次に進む前にもう一箇所、「ピリピ人への手紙 4 章」です。6 節から 8 節まで、これもよく知られた聖句です。私の人生で、神は長年に渡り強力な方法で心配事に関して、これを用いられました。私は極度の心配性なので、心配性の博士号があります。皆さん、ご存知かどうかは知りませんが。履歴書にあります。本当に得意なんです。自分の生活で心配することがなくなったら、あなたの生活で心配することを聞くくらい、心配するのが得意です。心配する事は、ロッキングチェアみたいだと言われます。それをして、どこにもたどり着けない。使徒パウロは、、、言い換えて言いますが、基本的にこう言っています。

「あなたがたは何も心配せずに、あらゆることを神に感謝し、どんなことでも祈りなさい。そうすれば、平安の神からの神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。**(ピリピ 4:6-7)**

そして 8 節、パウロは、私たちが考えるであろう事柄をリストアップし始めます。なぜなら、「箴言 (23:7)」にあるように、「人は心で思う通りの者」だからです。もし私が世のやり方、考え方をするなら、不思議ではありません。心を新たにし、全て清いこと、平安なこと、穏やかなこと、評判の良いこと、純粋な清い、良いことを考えねばなりません。そのように考え始めると、変容と刷新が起こります。そのように考えていないとき、私たちは、恐れや絶望に屈し始めます。そのように考え、神の御言葉で心が変えられ、新しくされると、突然、その状況に神に入って頂く事になり、すべてが変わります。なぜなら、神は仰っています。

「ちょっと待って。それは世が言っていることです。それは、世の影響を受けて生きています。あなたには聖なるものの影響を受けて生きてほしい。」聖なるものは、、、意味深ですが、聖なる生活は、聖なる靈によつてもたらされます。繋がりましたか？ 聖なる人生は、聖なる靈（聖靈）私たちは、自分自身で聖なるものを作り出すことはできません。

「よっしゃ！もっと聖なるものとなるよう努力するぞ。」それってうまくいきますか？私の記録は 1 分 28 秒くらいです。はい、全くそうなりません。それは、聖靈があなたの内に住まわれ、あなたに代わって、あなたの内で聖靈の御力で聖なる人生を生きられます。私たちがすることではありません。それは、聖靈の御力なのです。あなたが、キリストのもとに来る前はどうだったでしょう？ 聖書を手に取り、、、それが欽定訳聖書でなかったのを望みます。でないと、ひどいことになりますよね？「汝、汝の、なんじ...」失礼なことを言うつもりはないんです。欽定訳が好きな人たちがたくさんいるのは知っています。たぶん言うべきは、、、欽定訳聖書だけお持ちの方、、、は～...気にしないでください。なぜその話にいったのでしょうかね。でも、止めてください。それって、、、止めて、止めて、止めて。「唯一靈感を与えられた聖書

ですよ。」そうなんですか？　わお～、止めてください。OK。言っちゃったもんね。は～ 聖霊様、助けてください。聖霊は、自分のことは自分でやれって感じですね。一(笑)一　いやいや、そうとは限りません。欽定訳聖書だけ持っていることについて、最後の1つは、もしかしたら、これは誰かのためかもしれません。それが何を意味し、何を言っているのか分かりますか？　唯一靈感を与えられた聖書だと言っている時点で、神の御言葉を手に出来ないようにし、理解することができません。私がキリストのもとに来たとき、私の生活習慣からくる脳のダメージはとても大きいものでした。自慢できることではありません。こう話すのは誇張ではありません。私の理解できる語彙数はごく限られていて、脳も損傷していたのです。言わばイナゴに食われたものを、神は長い年月をかけて確かに回復させてくださいました。でも、私は聖書を持っていなかったので、そうせざるを得なかったのです。グッドニュース・バイブルを買いにいきました。覚えている人はいますか？　それさえも、私には無理だったんですよ。しかし、神に感謝します。翻訳というほどのものではありません。どちらかという言い換えが多かったのですが、私にはそれが必要でした。そして、初めて聖書通読するのに約半年かかりました。創世記から読み始めたのです。木曜日の夜に話したことですが、創世記から始めるべきではありません。特に、あなたがまっさら状態なら、出エジプト記、レビ記と進み、生け贋は、罪を犯すたびに動物の犠牲を捧げねばならないと考え始め、「家畜がたくさん要るだろうな。教会で保管しているのかな？」教会の前を車で通って、駐車場に家畜がいるかどうか確認してもいないんですよ。レビ記、民数記、申命記、ヨシュア記、士師記ルツ記、サムエル記上・下、列王記上・下、歴代誌上・下…マラキ書まで読み進め、そして新約聖書、マタイの福音書に来ると、こうなります。「ほ～～～～、やっと分かったぞ。」そうなんです。私が理解できた聖書を神に感謝します。イエスが生け贋です。だから、教会の駐車場に動物がいないのです。なぜなら、イエスが最初で最後の生け贋となられたからです。欽定訳だけでは、理解するのに苦労するという問題があります。それは、カトリック教会が行ったこととほとんど同じで、聖書をラテン語で書き続け、文字通りカトリック教会の説教壇に鎖で繋ぎ、一般人が自分で読めないようにしました。私にとって、欽定訳だけとはそういうものです。欽定訳が大好きですよ。私の聖句の暗記は欽定訳が多く、欽定訳を参照することもよくあります。じゃああなたはどんな聖書をお持ちで、どんなバージョンをお使いでしょうか？

答え：全部です。

どういう意味ですか？　そう、私の聖書ソフトのアプリには、30冊くらいの聖書があるので、いろいろな翻訳を参考します。そして、私個人としては、、、ある牧師がカンファレンスで言った言葉が大好きです。すっかり脱線しましたが、すぐ既に進行中の説教に戻りますからね。でも、これもまた誰かのためかもしれません。昔、牧師のカンファレンスで、ある牧師がこう言ったのを覚えています。

「私は NIV 派です。」会衆は静寂に包まれました。「ほえ～～～。待って、何て？」彼はこう言いました、「ええ、私はただ…では、その理由を説明しましょう。私が持っている聖書は 1984 年版です。2011 年版？（首を横に振って、ダメダメ）ごめんなさい。NASB/New American Standard Bible : 1995 年。

NIV/New Internatyonal Version : 1984 年 KJV/欽定訳 : 1611 年。ESV/English Standard Version、RSV/Revised Standard Version など、数え上げればきりがありません。とにかく、それだけは止めてください。特に若い信者や未信者にそういうことはしないでください。欽定訳聖書を唯一の靈感による聖書とすると、人々に神の御言葉に触れさせない事態を生み出すことになります。どうかそれは止めてください。OK。済みました。何人かは思ってらっしゃるでしょう。「イエスよ、感謝します。彼は一件落着です。」

3つ目、18節～21節に移りましょう。絶望の淵に立たされた時、「神のご忠実さを思い返す」これはたぶん更に難しいものの1つでしょう。特に、戦いの真っ只中にいるときは。あなたは、過去に、神があなたを救い出された時のことを考えていません。ダビデがゴリアテに立ち向かった時を考えます。彼はサウルを説得しようと言います。「僕にさせて下さい。」自分たちの神の御名を冒涙する無割礼のペリシテ人を倒すことを。「あれはよろしくありません。」サウルはダビデに自分の鎧を着せます。想像できますか？ダビデは当時、おそらく10代だったと考えられています。サウルがイスラエルの初代王に選ばれ、油を注がれた時、他の誰よりも背が高く、頭一つ抜き出ていたと記述にあります。それで、この背の高い男サウルが、この若い少年ダビデに鎧を着せるのです。サウルの鎧が大きすぎて、ダビデは動くことができません。それでサウルに言います。

「サウル王、失礼ながら、これは僕の色ではありません。(私JDは秋/初老です。僕には合いません。慣れていませんから。) (第一サムエル 17:39 参照)

「サウル王、要点は、神は、私の手に獅子と熊を与えられました。過去に神は、獅子や熊から僕を救い出してくださいました。この無割礼なペリシテ人など何でもありません。」(第一サムエル 17:36-37 参照)

つまり、神の過去のご忠実さに目を向け、今、未来に早送りできるのです。なぜなら、神は昨日も今日も、永遠に同じ神です。そのすべてを、忘れてしまったのですか？あのギリギリを。神がギリギリがお好きなのは、なぜでしょう？つまり、11時59分59秒/ギリギリ寸前に神は引き上げて下さいます。時に、主はあなたを過去に行かせられます。こういう表現を聞いたことがあるでしょう？「もう水面に顔が出ているだけだ。」ええでも、神は、こんな感じです。

「もっと大きな奇跡は、わたしはあなたを奇跡的に水中で呼吸させます。」「いやだあ～～。」一(笑)一「それこそ、より大きな奇跡ではないですか？わたしを見ていなさい。」過去の神のご忠実さを覚えていませんか？神が、こう仰りますか？「わたしの役目は果たした。これからはあなた次第だ。わたしはあなたを熊と獅子から救い出した。さあ、あとはあなた次第です。」違います。神はあなたを救い出されます。主はご忠実です。私たちは神のご忠実さを覚えておくのが良いと思います。つまり、ペテロは言っています。「あなたは生まれ変わったのだから、そのように生きなさい。」私の主との歩みの中で、悩んだり、恐れたり、心配し、苦労することもありましたが、「ただ、神様、すごい！」主が私に思い出させて下さったのは、「あなたは救いを失ったのですか？それとも何です？あなたは救われています。何をしてるのですか？」「ああ、そうだ、私は救われてる。」「一体何です？」ペテロはそう語っているのです。「あなたは生まれ変わって、贖われています。そのように行動してください。その時、神はご忠実に、あてもなく彷徨い迷っていたあなたを贖い、救ってくださったのです。それを覚えてますか？」はい。

じゃあ、ここで例えです。もっと良い例えがあったら教えてください。喜んで、検討します。しかし、これは私の最高の例えなので、気に入らないなら、、いつも妻に言われる通り「橋を架けて乗り越えろ！」あなたが言いたいのは、あなたが神を呼び求め、神を信じた時、神はあなたを救い、贖われ、地獄から永遠にあなたを救ってくださる神のご忠実さと優しさを信じているのに、今月の家賃のために神を信じられないの？一体、どこの世界の話ですか？神があなたのためにそうして下さったなら、あなたのためにして下さらないことがありますか？イエスはよくそう仰いました。使徒パウロがそれを反復しています。基本的にこんな内容です。これは約束です。神が独り子を差し控えられることなく、あなたのために死ぬため、その独り子を与えられたなら、神があなたに何を差し控えられるのでしょうか。神が

あなたのためにならぬなら、神があなたのためになさったなら、あなたの問題って何でしたっけ？ 何を震えあがっているのですか？ 主がそうしてくださったのなら、あなたのためにしてくださらないことなど何もないでしょう？ それが神のご栄光で、良いことなら、神はそれをなさいます。良くないと、主はなさらず、あなたもしてもらいたくありません。繰り返しますが、その原理、、ごめんなさい。また叫んで唾を飛ばしています。今日は無償の洗礼ですね。洗礼はいつでも無償ですが。神は私たちの祈りに答えてくださいます。神が知つておられる事を私たちが知ついたら私たちが自分の祈りに答えるのと全く同じご方法で。だからこそ言うのです。私たちは、祈りに答えて下さった事をとても感謝します。でも、神が答えて下さらなかつた祈りにも同じように感謝します。祈りのリストをつけている方、それらを見返したことはありますか？ 私は 80 年代から 30 年間やっています。変な目で見ないでください、もう昔のことですから。しかし、その祈りのリクエストを読み返すと、(ひ～)「神よ、その祈りに答えてくださらなかつた事を感謝します。もしあの祈りに、私が祈つたように答えておられたら、破滅だつたでしょう。」神はこんな感じです。「分かっています。だから、わたしは答えなかつたのです。」「神よ、感謝します。なんということでしょう。」しかし、その祈りのリストを見返してみると、神があなたの祈りに答えてくださつたことがたくさんあります。あなたに分かる筈です。それが自分を強くしてくれるし、自分を連れ戻します。あなたは正気に戻ります。

「私は何を考えていたんだろう？ 神よ、あなたはとてもご忠実です。私が不忠実な時にも、あなたはご忠実です。」

最後にもう 1 つ、最後の締めくくりに繋がります。1995 年のこと、当時私は、自分で事業をしていました。一年の締めくくりとして、自分の本に目を通し、祈りのリストと照らし合わせてみました。振り返ってみると、「今月は黒字にならないなあ」と思う月もありました。そして、悩みました。あ～また、言っちゃいましたが、私は心配性です。それで、1995 年に心配したこと 95 個を数えて、書き出してみました。冗談抜きで 95 個です。当時は Windows が出た直後なので、マイクロソフト Word でやつたんです。覚えてますか？ 1995 年に私が心配したこと。私が心配した 95 の事柄のうち、いくつが 1995 年に起つたか知っています？ ゼロです。そして、怒り出します。

「眠れない夜を過ごして心配してたんだ！ 起きなかつたじゃないか。」ぼつたくられたような気分です。あんな心配したのに！！！ 気にしないで下さい。一(笑)一

何が言いたいのですか？ 私が言いたいのは、こうです。あなたの人生の 1995 年の 95 の事柄を振り返り、神のご忠実さを思い返してください。今 2022 年にいて、振り返ると、1995 年ではないのかもしれません。生まれてもいない人は、、、何でもいいけど、若すぎるのでよ。あなたにとっては違う年かもしれません。あなたは昨日のことのように覚えていて、神はご忠実でした。神のご忠実さを思い出す必要があります。

最後の 1 つ、大物です。22 節～25 節、絶望の淵に立たされた時、「神の御言葉を完全に信頼する」絶望の淵に立たされた時、何が最も重要な思い出すことかと皆さんが私に問うなら、これしかありません。簡単に言えば、生きておられる神の御言葉と永続する神の御言葉の両方を通して、朽ちることない種から私が生まれ変わつたということを思い出す必要があります。使徒ペテロは、この言葉を引用し、「すべては朽ちていく」と言っています。地も、花も、何もかもが朽ちていきます。しかし、決して朽ちることなく、永遠に続くものがあります。それが神の御言葉です。最後に私が何を言いたいか分かりますか？ 神の御言葉は決して朽ちません。神の御言葉は決してあなたを失望させません。神の御言葉とは何か、ご存

知ですか？ それは、神が仰った神の言葉です。またもや、意味深ですが、神はあなたに御言葉を与えられました。神はされないのではなく、されないがお出来になりません。主は御約束を破ることが御出来になりません。主はあなたに御言葉をお与えになり、「はい、アーメン」です。銀行に持つていけます。(間違いない) 実際今は、銀行に持つていってはいけません。ー(笑)ー 気にしないでください。「聖書預言・アップデート」でした。銀行ももう長くはないでしょう。とにかく、あ”～話が逸れてしまいます。ー(笑)ー 実際に面白いのは、まあ、本当は面白いわけではありませんが、これが意味するはただ一つ、「イエスが来られます」

今、世界経済で起こっているキャッシュレス化経済を見てください。ほ～ (JD 上を見上げる) お～来られるのはもうすぐですね。そう思って上を見ました。見えませんが、あり得るかもしれません。ここで着陸させます。

主はあなたに御言葉をお与えになり、主はあなたに約束され、それが実現します。主は決してあなたを失望させられません。神があなたに神の御言葉を与え、神がそうされたなら、あなたは神の御言葉を完全に知り、信頼できます。そう、時々、、、繰り返しますが、祈ることすら難しい時、私の人生で、涙の祈りだけという時期があったのを覚えています。祈ることができず泣くしかない。せいぜい、呻き、唸るしかなく、それって、力強い祈りですよ。時に、言葉による祈りよりも力強いです。なぜなら神は私たちの泣き叫ぶ声に耳を傾けてくださるからです。でも、神の御言葉にしがみついていると、神が聖句を思い起こさせて下さる事があります。詩篇 27 篇 13-14 節は、祈ることができず、御言葉を読むこともできず、ただ呻き、唸り、泣き、嘆くことしかできないときに、主がいつも私に思い出させて下さる箇所です。ダビデはその詩篇の中で言います。

「私は殆ど全ての希望を捨て、絶望に屈した。しかし、私はほとんど希望を失いかけていた。私の確信と信頼を神の善に置いておらず、生ける土地で、神のいつくしみを見ると、信じていなかったなら。」つまり、神から御言葉をいただなのに、殆ど全ての希望を諦めかけていた。絶望に打ちひしがれていた。しかし、私はこの一つの真実に気づかされた。神は私に御言葉を与え、この中から良いものを引き出そうとしておられる。私にはどうなるか分かりません。神がいつなさるか分かりません。神のご方法が分りません。私はただ信仰によって、神が良いお方だからなさるのを知っている。神は良いお方です。どんなに悪いことがあっても神を信じることができる。そして、自分に言い聞かせるよう話し始めます。心を騒ぐのです。

「座れ！小僧。話がある。小休止の時間！ 雄々しくあれ。待つのだ。強くあれ。主を待ち望め。ただ、待つのだ。」

「生ける者の地で主のいつくしみを見る」(詩篇 27 : 13 参照)

「どうして分かるの？」主が私に御言葉を下さったからです。主は私に約束されました。主は、約束を撤回できないし、約束を破ることも御出来になりません。だから、神はこの中から良いものを導き出すと約束してくださったので私は神を信じます。主は私に御言葉を与えてくださいました。私は主を信じます。待たなければなりません。私たちは待つのが大嫌いです。それはまた別の機会の説教です。その説教はもう聞いたでしょう？ 私たちは待つことが嫌いです。でも待つのです。神がなさる事が分かるから。

「ええ、でもこれは本当に悪いです。」今に分かります。「ええ、でもあまり良い感じに見えません。」しかし、神は良い方です。神は良い事をしない事が御出来にならないので良い事をされます。主はあなたに主の御言葉をお与えになっています。あなたは主の御言葉を信じるのです。絶対に失敗しません。絶対

に失敗しないのです。神に最終決定権があられます。神が最終決定権を下されます。主はすべてを支配され、すべてを覆されます。主はその状況、絶望、試練に飛び込まれます。主は飛び込んできてくださるのです。その場面に飛び込んでくださります。「恐れることはない。神がここにいます。」お～わかりました！一拍手喝采一 OK。待って、最後にもう1つ。最後の1つと言いましたっけ？ OK。最後の1つです。これは約束、約束します。私は「最後に」という約束は守れませんが、これが最後です。

ダビデの話に戻ります。これは核心なので、どういうことかを説明します。自分でもやってみたんです。皆さん聞いたことがありますね？ ダビデの説教や学びで、「ダビデは巨人を倒した！」とか。OK。ちょっと待ってください。私はダビデではありません。イエスが、ダビデです。戦いは主のものです。主が巨人を倒されます。主だけがすべてのご栄光を手にされます。ダビデはイエスの予型です。ダビデは、私たちを苦しめ拷問する人生の巨人を倒すキリストの予型です。イエスがそれらを倒されます。イエスがあるエラの谷、絶望の淵に飛び込まれます。一緒にイスラエルに行った方で、石を5つ選んで取った方も多いのではないでしょうか？ 大丈夫ですよ。私も同じことをしました。ダビデが実際に使用した石だと確信できる5つの石を美しく揃えました。一(笑)一(ゴリアテの額に) 撃ち込まれたので、1つ足りませんが。(第一サムエル 17:40~50 参照)

しかし、主はその状況に飛び込まれ、40日40夜、ダビデの型として、イエスはその戦場に赴き、最終決定権を発し、あの無割礼なペリシテ人を黙らせられます。あなたが聴いているのは、神の御名を冒涜し、恐怖で身動きが取れなくなるものです。イエスはその状況、あの谷に飛び込まれ、あなたのためにあなたの代わりにその巨人を倒されます。主に最終決定権があるのです。主はそうなります。待つのです。今にわかります。ご起立ください。祈りましょう。ディビッドは上がってきてください。

天のお父様。あ～なんと、ここには多くのことがありました。でも主よ、あなただけが御出来になる通り、これを取り上げ、本当に傷ついている人、本当に絶望の淵に立たされた人を導いて下さい。

主よ、あの場面、あの状況、あの谷に飛び込んで下さいませんか？ あなたのご忠実さを見せてください。主よ、感謝します。私たちはあなたをとても愛しています。あなたのご忠実さに感謝します。あなたの御言葉に感謝します。イエスの御名によって。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリー・チャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7